

川上地区 むらづくり計画書



平成 25 年 12 月

川上地区自治振興会

= 表紙写真 =

自然豊かな川上(新庄区内)の田んぼで仲良く
くつろぐ2羽のコウノトリ

目 次

はじめに	1
I 現状と課題	2
II 川上の将来像	5
III 計画期間	6
IV 実施計画	6
V 川上地区の整備計画・要望	13
VI 資料		
資料1 平成25年度川上地区自治振興会委員名簿	17
資料2 川上地区むらづくり計画策定経過	18
資料3 川上地区むらづくり計画住民アンケート	19
資料4 川上地区むらづくり計画住民アンケート結果	23
資料5 川上地区の人口・世帯数の推移	33
資料6 川上地区年齢構成表	34
資料7 むらづくり「ゆめマップ」調査結果・夢マップ(地図)	35

はじめに

平成16年4月1日京丹後市が6町合併により誕生しました。しかし、特に久美浜町では71もの小集落が広域に広がっており行政対応の困難さが予想されたところでした。

そこで、少しでも行政対応の激変を緩和するため、久美浜町では各旧村単位に活性化協議会が平成17年4月設立され、そこが広域行政対応窓口を担うこととなり、川上地区でも8集落を組織化した川上地区活性化協議会が発足する運びとなりました。

その後、平成23年度活性化協議会の組織体制・取組内容の見直しを図る中、川上地区自治振興会と名称変更し、「川上地区の課題と将来展望について協議し、地域の活性化を図り、明るく住みよい地域づくり」を目指すこととなりました。

今、日本の将来を語る上で欠かせない「まくら言葉」が「少子高齢化」です。少子高齢化がこのまま続けば人口構成ピラミッドが、1950年代の正三角形から2050年の逆三角形まで、100年間で急激に人口が減少しまったく様変わり、超高齢化社会への突入が確信されています。

その過程の中で、川上地区の姿はどのようなものが想像できるでしょうか。何も対策をとらなければ、「少子高齢化の風景」そのものであり、川上の将来は人口動静からみてまことに暗いと言わざるをえないものになります。

こういうさみしい過程の中であって、川上地区に生まれ育った私たち地域住民がお互い思いやりの気持ちを大事に、少しでも安全に安心して暮らせる地域づくりを目指すことは大変重要な課題となっています。

この計画書は、平成24年度に実施した川上住民アンケートの結果に基づき分析を重ね、一定の川上の将来像の方向性を策定したものです。

計画策定にあたり、多くの方々から貴重な意見提言をいただき、より住民の思いや願いを反映することができました。また、関係機関の皆様からの適確な指導助言、先進地視察研修の成果も計画に盛り込むことができました。

平成26年度は、いよいよ計画に基づく活動を開始する年になりました。できそうなことから一步一步進捗状況を確認しながら、進めていきたいと考えます。

今後、より一層自治振興会の取組に対し川上地区住民の皆様が問題意識を共有していただき更なるご理解・ご支援をお願い申し上げ、計画策定にあたっての挨拶とします。

平成25年12月

川上地区自治振興会

I 現状と課題

1 「村づくり」策定に関する基本方針

(1) 策定の進め方

「村づくり計画」策定の取組は、その取組自体が住みよい川上地区への活動の推進につながると思われました。「村づくり計画」が更に、具体的かつ現実的な村づくりにつながるためには、計画づくりの過程の中で、より多くの方々の意見要望を集約することが大事であると考え、全戸アンケート調査を実施してきました。将来展望の策定に関しても広く組織的な議論の場を設定し、少しでも確かな将来展望を見出す努力を重ねてきました。

(2) 策定の基本方針

この川上地区は昔も今ものどかな景観が広がる田園地帯である。この恵まれた自然・資源・歴史を再発見するとともに、地域のかかえる現代的課題を整理し、その解決にせまる取組を策定します。

2 川上地区の概要

京都府の最西北端の京丹後市久美浜町は、昔から大陸との交流が盛んに行われ、古代から発展していた町です。その南にあたるのが川上地区です。地理的には南北に細長く拓けた沖積平野で美しい田園地帯が広がり、そのほぼ中央を川上谷川が流れています。川上谷流域を中心に8集落（市野々・布袋野・畑・金谷・市場・出角・須田・新庄）が点在しています。北以外周りは山並みが連なり、東には青地ヶ岳（445m）を頂き、南には高龍寺ヶ岳（697m）・法沢山（644m）を望み、西には徳良山（327m）を仰ぐ風光明媚な農村風景が広がっています。その山並みが分水嶺となり、出石・豊岡方面との県境になっています。川上谷川の下流に位置する新庄集落の北側は、久美浜町海部地区ですが、日本海に向かって更に広い田園地帯が拓けています。

須田集落には、ここから南西に伸びる伯耆谷があり、この伯耆谷は「王家の谷」と呼ばれ、大小100もの古墳が発見されています。その中にあるのが湯舟坂2号墳であり、1981年の発掘で全長122センチの黄金に輝く環頭太刀が発見されました。ここを筆頭に、川上地区は古代から大陸とつながり、歴史的にも極めて貴重な地区であります。

3 川上地区の暮らしの今昔

川上地区の人口は昭和22年のピーク時には2638人でありました。平成22年は1256人でこの60年間でほぼ半減してしまっただことになります。昭和期の減少は安定した職を求めた都会への転出が大半を占め、近年の減少は少子高齢化傾向にも拍車をかけています。しかし、記録に見られる世帯数は昭和55年420戸、平成22年385戸と人口ほどの減少が見られないのは幸いではありますが、反面、独居世帯が増加していることを意味していることとなります。このような高齢者問題に課題意識をもち、皆が安心して暮らせる地区をつくっていくことが期待されるゆえんでもあります。

産業は従来から米作が中心でありました。昔から谷から流れ出る豊かな水と肥沃な土地に恵まれ、米作りを主とした農業を柱にしながら、あと大根の採取・葉たばこ・かいこ繭等が盛んでありました。

しかし、昭和35年ころから機業が順次導入されその最盛期には農業よりも織物に関わる戸数が増え、その収益は農業収入をはるかに凌ぐものとなっていました。いわゆる、ガチャ万の時代の到来であります。

しかし、その時代も未長く続かず、生産は昭和48年の920万反をピークに平成21年には50万反前後と往時の20分の1まで衰退の一途を辿り、その隆盛は今や遠い昔話となってしまっています。

近年の農業を巡る厳しい経済的な状況は、専業農家の育成を阻み、ほとんどが会社勤めか、勤めが中心の第二種兼業農家となってきています。また、圃場の基盤整備・農業機械化の推進が労働条件の改善につながってきました。反面、自己責任で田畑を耕作管理する時代はとっくに終わっており、今や集落内の田畑を集落で責任もって耕作管理することも難しくなりつつあります。そのことは、耕作条件の悪いところから、耕作放棄地・未管理田の増加につながってきました。近年の有害獣被害の深刻化も改めて農業経営の難しさに拍車をかけてきています。

しかし否定的な側面だけではなく、ビニルハウスを利用した営農、付加価値の高い営農、大型機械による省力化経営等々が導入され、明るい展望も垣間見ることが出来ます。

4 川上地区の暮らしの概要（現状と課題）

(1) 若者、後継者不足

今、若者を中心に多くの男性は、仕事と結婚の悩みをかかえています。

川上地区から若い世代が減り始めたのは1950年から70年代までの高度経済成長期、いわゆる若年労働者が「金の卵」と持てはやされた時代です。次男・三男を中心に都市部へ出て行った時期にあたります。女性にとっても文明的な生活の可能性の高い都会の方が、一般的には魅力的に映ることもあり都市部への流出が続きました。それ以降も少ない若年層が学校卒業とともに、都会へ出て行くことが定着し益々若年層の減少に歯止めがかからないで今日に至っています。一つにはこのことが嫁さん不足の恒常化を引き起こしたと言われており、今も結婚したくてもできない深刻な状況が続いています。

ちなみに、京丹後市の平成22年の統計によりますと30歳～34歳の未婚者率は(男47%・女28%)となっています。40歳～44歳においても(男28%・女11%)と高い未婚率を示しています。

結婚問題前進には二つの課題があります。一つには、農業実習嫁募集、婚活パーティの開催等嫁さん候補生の確保そのものに関する事。もう一点は、三世代家族であっても個人のプライバシーを一番に考えると、貴重な家庭内労働者に位置づけないとか、住環境の整備とか、嫁さんを迎える側の物的、人的条件に関する事です。結婚問題は、アンケート調査からも、最も深刻な課題の一つとして読み取ることが出来ます。

不景気も手伝い勤労意欲は充分あっても働き口が少ない、働く場所の確保は難しいのが今の状況です。若者は後継者として安定した職場を求めています。しかし、企業は安い労働力を求めて海外へ進出し、織物業もその直撃を受けた現実があります。しかし、私たちには企業誘致は力の及ばない分野であります。まして、若者を満足させていける起業など夢であり、京丹後市行政に強くお願いする道しかないのが現状であります。

このように、若い世代が自分に合った仕事につき、一生の伴侶とともに有意義な生活がおくれることは、ごく当たり前の生活基盤の確立そのものであり、なんとか明るい展望を拓きたいものです。

(2) 高齢者問題

現在、川上地区の高齢化率は36.5%です。(30.9%：京丹後市・34.6%：久美浜町) このように、超高齢社会を迎えており、今後も益々速いスピードで高齢化率はあがっていくこととなります。現在全国的には、4人に1人が、平成47年には3人に1人と上昇していきます。その一方で、少子化の進行はもとより、地域社会の機能や世帯構成が大きく変化する中であって、各8集落のなかで、高齢者世帯・独居世帯を巡る福祉のあり方が現代的な大きな課題となっています。因みに、現在の川上地区高齢者独居世帯率は8.9%であります。

(平成17年9.6%：京丹後市) 私たちは、「独居老人」という言葉を聞けばつい暗いマイナスのイメージをもちがちではないでしょうか。住み慣れた土地で親しい友人に囲まれ、いきいきと暮らしているプラス思考の独居老人もたくさんおられます。確かに、老人が独り暮らしをするというのは急に病気になったり、何かあった時の事を考えると大変不安になります。そのことへの対応が課題なのです。

阪神大震災後、高齢者は新しい環境への適応能力も低いため、仮設住宅における孤独死が随分発生したと聞きます。それをうみだした原因のひとつは、地域コミュニティの崩壊だとも言われております。この川上地区から同じ過ちは何とか防ぎたいものです。

今後、独居老人は増えることはあっても決して減ることはないと言われております。周囲の近親者に見守られた独居死はあっても、1週間も発見されない孤独死をうまない。そこで、高齢者が生き生きと安心して暮らしていける環境の整備が是非とも必要になるのです。

そのためにも、公的な福祉サービスの有効活用を基本に、集落内ではお互いの助け合いを軸に安全安心・住んで楽しい地域の復活目指して、できることから取組を検討していきたいと考えています。

(3) 歴史資源

何気ない田園風景が広がり、静かに時が流れる川上地区。慌ただしい雑踏の中に暮らす都会人の目には、長閑な田園の景観だけでも心を癒す素敵な地域に映ると聞きます。

このように、私たちにとってはごく当たり前の風景が、新たな価値をもち、視点を変えれば、田畑だけでも立派な文化遺産になり得るのです。まして川上には、地元民の私たち

もあまり認知していない地域の文化、歴史遺産があります。例えば、文化的には、(布袋野三番叟・菖蒲田植など) 歴史遺産 (三嶋田神社・湯舟坂 2 号墳など) です。テーマパークもいいが、さりげない佇まいの不動さん・地蔵さんを巡る散策コースを集落単位、川上単位で整備していけないものか。結構地元民にとっても魅力的な川上発見、歴史再発見につながり、「ふるさと川上」として自慢できる風土を発信していけないものかと考えています。

平成 26 年 3 月には川上の文化センター的役割も担ってきた川上小学校が、とうとうその幕を閉じてしまいます。そのまま放置ではあまりにも寂しいものが残ります。その有効活用も「川上夢マップ」の中に位置づけていきたいと考えています。

(4) 地区自治問題

世間が狭く干渉されやすいとか、山奥で不便と思いつつも、川上住民は圧倒的にこれからもこの風光明媚なこの地区に住み続けたいと多くが願っています。

各集落では、従来から世帯戸主に年間通して日役を課すことによって区有財産の保全管理を図るとか、集落内ほぼ全戸農家である利点をいかし組織的、共同的な営農関係を築いてきています。そのことを通して、相互扶助の精神も育ち、集落がコミュニティーとしての役割を果たしてきたのです。

しかし、近年昔のままの組織体制・運営方法では世代によっては、負担を過重に感じたり、不公平感が表面化してくる傾向があります。このことはアンケートから読み取れることです。しいては集落の運営機能の低下に派生してきています。その原因を過疎化・少子高齢化により担い手不足が顕著になってきていることや、兼業農家の増加、現代流価値観の多様化に見出すことができます。そのような状況から、各集落においては、実態に即しての組織の改善策の検討が重ねられている最中であります。また、川上地区を取り巻く環境は一層厳しくなっている昨今の状況から、かつては当たり前のこととして特に意識することもなく、日常的に隣近所に目配り・気配りができていたものが、今日価値観の相違もありなかなか難しくなっています。

そこで、行政による地域活性化施策だけに頼るのではなく、私たち地域住民によるきめ細かな創意と工夫に満ちた少子高齢化・過疎化の現実を踏まえた検討を重ね、若者が定住し、高齢者が大事にされる安全・安心な地域社会を実現していく取組を、一步一步創造していくことがアンケートからも期待されています。

II 川上の将来像

～ 明るく住みよい地域 ～

すべての人が、協力し合い元気に心豊かに暮らせる地域、また恵まれた自然・歴史・文化を守り、繋いでいける川上地区を創ります。

III 計画期間

このむらづくり計画は、新しい川上づくりを実現するために、平成26年度から35年度までの10年間とし、平成35年度を目標として計画の実現を目指します。ただし、この計画に係わらず住民の要求の変化にも対応するため、必要に応じて見直すものとします。

IV 実施計画

1 生活基盤の充実

(1) 働く場所の確保対策

この問題は、川上地域の問題であるだけでなく、久美浜町、ひいては京丹後市全体の問題でもあります。従って、京丹後市に企業誘致による働く場の確保やより一層の産業振興策を取るよう要望していきます。

なお、川上地域においては、営農組織等の設立や法人化により、生産、加工、販売等を手掛けたり地産地消の販売コーナーを設置するなど、雇用の場の確保を検討する必要があります。

また、川上小学校校舎を活用し、高齢者等の憩いの場設置（喫茶・軽食コーナー併設）や福祉施設等として事業展開してくれる事業者を探し、地元技術者等の雇用を増やす方法も検討の必要があります。（自治振興会）

(2) 集落の運営機能低下対策

過疎化と高齢化により、高齢者や障害者は日役等が負担となり、若者は役職等がよく回ってくると苦情が絶えない状況の中で、これまでの考え方を改め、働きにくい高齢者（何歳からとするか等は検討の余地あり）や障害者（認定に一定の基準が必要か）は日役を免除し、出不足料等も活用して日役に出る人には日当を払ったり、集落の運営を担う人には役職手当のアップをしたりして、働き甲斐のある優遇措置を考える必要があります。（自治振興会、各区）

なお、高齢者や障害者といっても過疎化や高齢化がどんどん進んでいき、働き手がなくなっていく中で、早く第一線を引くのではなく、教えられる技術・技能を後進に伝える義務を果たしてもらうことが必要であり、事あるごとにそういった場を設けたり、地域の役に立っていると実感できる場所を意識的に創出する工夫が肝要であります。（自治振興会、各区）

しかし、これらの対策は根本的な解決策ではないことを留意しておく必要があります。

(3) 道路、河川、上下水道等の整備

次の事業を京丹後市（京都府）に粘り強く要望します。なお、状況変化に応じて他の事業も要望します。

ア 道路整備事業

府道町分久美浜線（須田から金谷線）道路拡幅

道路が狭くS字カーブのため、車両の人身事故が多発し、地区民にとって危険な状態であるため。

府道町分久美浜線（友重から布袋野）拡幅改修

道路幅が狭く、交通量が多いため。

府道永留豊岡線（平野古代の丘公園から大坂峠）の道路改良

現在の府道幅員が狭いため。23号台風以来路面の浸食等により通行不能になっているため。

市道布袋野豊岡線（イザミ峠）の除雪等の整備

冬期間の交通確保、土砂崩落防止、道路周辺の樹木伐採をお願いしたい。

イ 水道石綿管布設替え事業（川上西部排水地から新庄間）

給水管の布設替え工事および水洗の早期実現（市野々区・布袋野区以外の未整備地域）

ウ 集会施設の改修事業

公民館の改修（浄化槽・冷房設備等の設置）

公民館のトイレ・台所の水廻りが老朽化しており、便槽も割れている可能性が大いにある。また冷房設備がないため夏場の区民の交流時、熱中症等の危険を伴うため。

公民館の駐車場の舗装

公民館駐車場が舗装されていないので、雨や雪の時には足元がぬかるみ危険なため。

林業センターの改修

調理台が壁側にあり講師の手元が見えないので、講習や作業が大変し難いため。

(4) 災害や事故、犯罪のない、安心、安全なむらづくり

「災害は忘れたころにやってくる」といいますが、大地震や風水害はいつ起きるかわかりません。最近大きな被害が各地で発生している状況を鑑みれば、土砂災害危険区域の点検や定期的な避難訓練は欠かすことができません。また、避難困難者の把握と対応策の検討、災害発生時の対応資材の備蓄等も必要であります。各地区に沿ったこれら初期対応マニュアルを検討作成することが肝要です。（自治振興会、各区）

事故や犯罪にしても地域的に少ないとはいっても無いわけではなく、いつ起こるかわかりません。啓発看板の掲出などにより徹底を図ると共に、「母さん助けて詐欺」や「いじめ」等いろいろな問題についても、一人で持ち込み悩むのではなく、川上駐在所等公的機関に相談するよう勧めるとともに、近くで相談できる体制作りの検討も必要です。特に一人暮

らしが増えてきている現状の中では道端や訪問による声かけ運動が肝要となります。(各区)

(5) 結婚を前提とした出会いの場の確保

アンケートの「困っていること、気になること」の項目において、交通機関の改善や有害鳥獣対策に次ぎ「未婚の男性、結婚問題」が台頭しています。後継者不足が問題視される中で、家にいる後継者の中に独身者が多いことは、次の時代の後継者がいないことにつながり、問題視しなければなりません。自治振興会では結婚を前提とした出会いの場の確保について取り組んでいきたいと考えています。(自治振興会)

2 産業振興対策

(1) 農業対策

ア 営農組織の検討

(ア) 受託組織の設置

農業基盤整備のアンケート結果を見ると、遊休農地(耕作放棄地)をなくす、農地の受託組織設置・農地集約化、農地貸手・借手情報提供、受委託の推進等の項目が多くを占めています。これを見る限り、農地の貸し手(提供)や借り手(活用)希望者が多いことが伺えます。個人でその調整をするのは大変でしょうが、集落営農の取組みを踏まえ、川上全体で組織化し貸し手の把握を行い、受託経営を実施する絶好のチャンスではないかと思われまます。自治振興会ではこの受託経営の組織化等について営農部を中心に全体で検討いたします。(自治振興会、営農部)

(イ) 地産地消・農産物加工販売

地産地消の取組みは、既存施設の活用のほか、朝市、各地のイベント活用等が考えられますが、地区内でのいろいろな行事に呼応し地場農産物に関するイベントの実施や直売所の設置なども有効であると思われまます。これらの課題は、出荷者の確保と年間を通じた魅力ある品揃えが必要であり、直売所設置には特に集客数の確保、組織運営等が必要になります。農産物加工販売は、農産物の付加価値化に加え、品揃えもよくなり活動の範囲が広がります。簡単な加工品から始め、地域の農産物を使って特徴ある加工品を工夫いたします。

これらを顕在化するためには、各地のイベント情報を把握したり、消費者ニーズに合った生産・出荷ができるよう販売管理システム(POS)データなどを分析したり、直売所やイベント実施の人材確保をしたり、イベント情報を発信したりする「イベント管理部門」と情報分析を踏まえ市場に求められている、地元に適した農産物や加工品を生産調整する生産指示拠点(農産物加工場を含む)を持つ組織形成が必要です。自治振興会ではこの地産地消・農産物加工販売の組織化等について何か一つでもできないか、営農部を中心に全体で検討いたします。(自治振興会、営農部)

(ウ) 農業後継者の育成確保

受託設置や地産地消・農産物加工販売等の実施を検討する中で、当然いろいろな部門の人材育成は必要不可欠となり、実践による後継者育成が行われ、雇用の拡大にも及ぶような取り組みが必要となります。(自治振興会、営農部)

他地域でも若手農業者の育成に取り組み、新規就農者を研修生として受け入れ、2年間の研修を終え、経営に参画させたケースもあるようです(久美浜町品田 誠農海部(株))。

イ 有害鳥獣対策

有害鳥獣対策は、今回のアンケート調査回答者の 57.1%が「徹底・充実」を望んでおり、各地区でメッシュや電気柵等が張り巡らされているにも関わらず「不十分」という回答が寄せられていることとなります。このことは、各地区対応だけでなく、少なくとも川上の地域全体での対策としてどう対応するのか検討の必要があります。また、猟銃免許所有者の育成、強化も検討すべきです。(自治振興会、営農部)

ウ 農村体験、就農者呼び込み策の検討

他地域の「都市農村交流活動」は、伝承行事(弥栄町田中地区)や歴史遺産、山登り(大宮町上常吉 (有)常吉村営百貨店)、田植えや稲刈り体験(与謝野町温江)、地元主催のイベント等により都会から人を呼んだり、夏祭りをして地区を離れた若者を帰したりしています。(手紙でふるさと帰ってこいコール:久美浜一区)また、都市部のイベントに参加し、そば打ちの実演販売(丹後町(株)岩木ファーム)などを行い、都市との交流の輪を広げています。川上地域をPRする伝承行事や峠越え等メインイベントを決め、宣伝活動をする必要があります。(自治振興会、営農部)

なお、I・Uターンの新規就農者受け入れは、団地化による高品質の特別栽培米やみず菜を生産し、施設園芸の栽培技術、水稻生産作業の指導を行い、地域農業の後継者として育成するように取り組んでいるところがあります(丹後町(株)岩木ファーム)。住居の問題、農地の問題、生活(収入)の問題等なにか特典が与えられるよう整備・検討をする中で農村・農業体験や就農者呼び込み策の検討をしていくべきです。(自治振興会、営農部)

また、今 TPP 参加の議論が加速されグローバルな流通が始まりますと、価格の安定と食の安心安全が求められると思われれます。川上農地活用の方向として消費者・生産者共同参加型農業組織の検討が必要です。(自治振興会、営農部)

エ 有害鳥獣対策、農業の活性化、森林保全対策・公団造林事業、水路整備事業

次の事業を京丹後市に粘り強く要望します。なお、状況変化に応じて他の事業も要望します。

(ア) 有害鳥獣対策

メッシュ防護柵、電気柵の設置、捕獲の強化（イノシシ、シカ、ヌートリア類）、有害鳥獣を防止するため防護網の設置、田畑の被害が拡大しているので金網を張り田畑への侵入を防ぐため。

(イ) 農業の活性化

農家の担い手支援、地域集落ビジョンの提案、認定農業者の経営安定化、施設園芸の振興、米政策について従来の助成を下回らない支援をお願い。

(ウ) 森林の保全対策、公団造林事業

植林地の保育管理、林道の整備、雪起こし事業費増額、林道・作業道の維持、植林地の間伐、流木の防止対策、治水対策と林業経営安定化のため必要、作業面積が多く区民の負担軽減、造林地を管理して災害の未然防止と林業経営安定化を図るため。

公団造林地(市野々)、市行造林地[布袋野「公団造林地（奥山・笹倉鎌倉）、市行造林（コブタキ）」]

(エ) 水路整備

水路改修、漏水防止。農業用水、生活用水として重要な水路、老朽化がひどく水路より水漏れがあり、維持管理が困難なため。

轟水路（畑 田中良則宅から金谷境）

<参考> 他地域の状況

農家の高齢化と後継者不足、耕作放棄地（遊休農地）や鳥獣対策の問題、農地の受託組織や地産地消、農産物の加工販売等の必要性はどこでも同じような思いを抱えており、久美浜町内や京丹後市内を見ると、補助金を活用したり、地区内で工夫研究をしたりして、色々な取り組みをしています。

☆ 補助金等の活用

[府の地域農場づくり事業] 誠農海部(株)（品田）

[ふるさと共援活動] 甲坂区（久美浜町）、上山区（丹後町）、矢畑区（丹後町）、田中区（弥栄町）

地域の実情に沿った形ではありますが、活動組織は法人（株式会社等）や地区が多いようです。

☆活動組織の種類

[株式会社] 誠農海部(株)（品田）、(株)岩木ファーム（丹後町）

[有限会社] (有)フルーツ王国やさか、(有)常吉村営百貨店（大宮町上常吉）

[農業生産法人] 鹿野（久美浜町）

[地区] 甲坂区（久美浜町）、上山区（丹後町）、矢畑区（丹後町）、田中区（弥栄町）、温江区（与謝野町）

受委託問題等に関しては、地域内で十分話し合い、①水田の所有権と耕作権を分離（ブロックローテーション）し、②耕作放棄地を作らない方針のもと、③積極営農活動を実施

しているところが見られます。(品田、鹿野)

特産品づくりでは、肥料を工夫した特別栽培米(竹取物語 品田)や古代米(上山区)をはじめ、シイタケ栽培・こんにゃく加工(甲坂区)、そば(岩木、上常吉)、メロン・野菜・果樹(鹿野)、条件の悪い農地の山椒栽培(品田)、炭焼き窯の復活(甲坂区)など色々です。

加工販売では、郷土料理(田中区)やそば、大根漬物、こんにゃく(上常吉)、ぶどうの規格外品を使ったジャムづくり((有)フルーツ王国やさか)など色々で、体験もできる工夫(上常吉)をしているところもあります。

地産地消については、地域住民が出資してできた村営百貨店で、地元農産物はもとより、一般食品から日用雑貨など日常生活に必要な生活必需品をそろえ、店内には住民の交流スペースも設けられているところがあります。(大宮町上常吉)

また、特産品によっては、都会の大学生協(上山区)や病院、ふるさと産品販売所等への提供も考えられるでしょう。

鳥獣対策については、地域ぐるみで電気柵や防護フェンスを設置されています。(丹後町矢畑、岩木)

(2) 歴史・伝統、自然景観の活用

ア 川上の歴史・伝統、自然景観を生かした観光コースの設定

アンケートの結果を見ると、「川上の自慢できること」として、「山なみや田園の景観」、「歴史・伝統がある」、「祭り等のイベント公民館活動」などがあげられています。これらを活用して、川上の観光コースの設定を図ったり、収穫祭や祭り・登山・峠越え・遊歩道散策等のイベントを企画し、それと組み合わせで都会から観光客を呼び込むことができないか検討いたします。非農家を対象に田植えや稲刈り体験を実施し、「都市農村交流活動」として都会からも多くの参加者を得ているところがあります(与謝野町温江)。定着するまでの宣伝活動が大変だと思われませんが、地産地消、農産物加工販売の一手段として検討の余地があります。(自治振興会)

イ 農産物、特産品等の販売

収穫祭やイベント実施に合わせ、特産品販売コーナーも設けることができます。

ウ ふるさと産品販売所の活用

最近都会で「ふるさと産品販売所」を設けたり、「ふるさと料理」を看板に出す飲食店も見られます。そういった情報を収集し、提携を結び、要望に応じた特産品づくりをしたり、現地で実演販売等の工夫をしてみるのも一案です。(自治振興会)

3 福祉の充実

ア 高齢者や障害者等が安心して暮らせる体制づくり

<声かけ・助け合い運動の実施>

独居老人をはじめ、高齢者所帯や障害者所帯等に安否確認を兼ねて、常に声かけ運動(独居老人は民生児童委員さんを中心に)をし、いつでも助け合えるネットワーク作りを行う必要があります。また、緊急時対応についても速やかに対応できるよう確認をしておく必要があります。(各区)

イ 高齢者の交通手段の充実

交通手段を持たない人を対象に、病院や買い物等の送り迎えや代行サービスの実施を検討する必要があります。(自治振興会)

また、各地区においても日時を調整し、ついでの際に送り迎えや代行をしてあげられる体制作りが必要です。(各区)

ウ 高齢者等の憩いの場設置

高齢者等地域住民が集まり、のんびりと話し合ったり、スポーツをしたり、囲碁・将棋等を楽しんだり、飲み物や軽食を食べたりできるコミュニティ・センター設置を小学校跡地で検討します。(自治振興会)

エ 高齢者の活躍の場の設定

高齢者の福祉問題となると高齢者を守ることに集中しがちですが、守る側の若者が少なく、定年退職の年齢で後は若者に任すといったことにはならない状況が来ています。産業振興対策に取り組む上で、経験豊富な高齢者に受託事業、農産物加工販売、農業後継者の育成、農村体験等のリーダーとしてあるいは講師として大いに活躍してもらう必要があります。

また、川上の観光コースの設定を図ったり、収穫祭や祭り・登山・峠越え・遊歩道の整備等の企画や、非農家を対象に田植え・稲刈り等の体験を実施する場合のリーダーは地区内のことが良く分かっている高齢者の方をお願いすることとなります。

高齢者の存在の大きさとたくましさを再認識するとともに組織化の必要性も検討する中で、大いに高齢者の活躍の場を設定する必要があります。(自治振興会)

オ 子育て機能の回復

子供たちを取り巻く環境は、大きく変化してきており、親による虐待や凶悪犯罪等々他人事では済まされない状況となっています。地域ぐるみで子供たちを見守り、安全な地域づくりに取り組むとともに、農作業体験や地域の歴史・文化を学ばせ、地元への愛着や誇りを高められるような取り組みを行う必要があります。

また、子育ての経験豊富な高齢者で資格所得者に協力を得て、共働き家族の子供保育等、子育て体制の検討も必要であります。(自治振興会)

V 川上地区各地区の整備計画・要望

【市野々】

- | | |
|-----|---|
| 道 路 | <ul style="list-style-type: none">・道路修繕（芝原線・尉ヶ畑～市野々間）・道路肩・水路肩修繕（市道正福寺線・中田安久宅前）・道路拡幅（市野々橋～瀬戸勝則宅間 250m）・道路舗装（崩地区、畑～市野々線 100m・市道円城寺線） |
| 河 川 | <ul style="list-style-type: none">・川上谷川の法面陥没の修繕 |
| 農 業 | <ul style="list-style-type: none">・水路改修（四渡伊根水路） |
| 生 活 | <ul style="list-style-type: none">・市野々公民館下の鞍掛橋の角切り・尉ヶ畑～市野々までの待避所の設置・積雪時における区内生活道路の除雪・外灯の新設・カーブミラーの設置（尉ヶ畑～市野々間） |
| その他 | <ul style="list-style-type: none">・山の枝打ち伐採（市行造林・コマイ地区） |

【布袋野】

- | | |
|-----|--|
| 道 路 | <ul style="list-style-type: none">・道路拡幅（久小田笹倉線・府道町分久美浜線と河上三神社線の十字路
・入江農道入り口付近）・側溝整備（府道～堂ノ岡間）・府道町分久美浜線センターライン上にポールを設置（岡五郎宅付近）・道路舗装（市道布袋野船越線）・農道の舗装・整備 |
| 河 川 | <ul style="list-style-type: none">・川上谷川の堰堤石垣修理と堆積土砂撤去 |
| 農 業 | <ul style="list-style-type: none">・水路改修（布袋野尉ヶ畑線） |

- 生活
- ・老朽化したカーブミラーの取替
 - ・水銀灯の設置（旧作業所前）
 - ・今江入り口反対側の山の斜面を削り見通しを良くする
 - ・カーブミラーの移動（今江側）
 - ・バス停として利用している事が分かる路面標示と道路標識の設置
 - ・生活水路改修・整備（久小田笹倉線沿い・ポンプ庫横）
 - ・寺田橋の拡幅・修理
 - ・イザミ峠の冬期間の交通確保と樹木の伐採
- その他
- ・防火水槽の撤去及び新設（市バス停前）
 - ・造林地への作業道の復旧

【畑】

- 道路
- ・道路舗装（轟二反田線・府道～菅森橋東側・府道～畑大橋東側
・東畑西畑線・田中和雄宅～平野俊之宅間）
 - ・道路改修（菅森橋の取り合い部）
 - ・市道稲葉今瀬線（安達久王宅前）交差点の改良
- 農業
- ・轟水路の整備（水路改修・漏水防止）
 - ・鳥獣害対策
- 生活
- ・菅森橋の欄干修繕
- その他
- ・消火栓ボックスの取替
 - ・公民館駐車場のアスファルト舗装
 - ・公民館駐車場周辺フェンス設置

【金谷】

- 道路
- ・道路拡幅（町分久美浜線S字カーブ）
 - ・舗装修繕（市場～金谷大橋西詰間）
- 河川
- ・護岸整備（天王井根上流西側）
 - ・川上谷川大井根副堰堤の改修

- 農 業 ・ 大井根水路の整備（漏水防止）
- 生 活 ・ カーブミラーの設置（金谷大橋）
- その他 ・ 三嶋田神社の外塀の整備、社務所の建て替え

【市場】

- 道 路 ・ 道路拡幅と歩道確保（高龍小学校への通学路）
 ・ 道路舗装
 ・ 市道の生コン舗装
 ・ 農道生コン舗装
- 河 川 ・ 浚渫工事（中川水路）
 ・ 河川拡幅（中川水路、大垣喜規宅裏）
- 農 業 ・ 農地水路の改修工事
 ・ 鳥獣害対策
- 生 活 ・ 中橋の欄干修理
- その他 ・ 公民館修繕工事及びエアコンの設置

【出角】

- 道 路 ・ 道路改修・舗装（市道苗代線・市道出角線）
 ・ 側溝整備（公民館～80m・出角上じ川線 100m）
 ・ 道路拡幅（公民館上 200m）
 ・ 農道舗装（区内全域）
- 河 川 ・ 護岸崩落部分の改修（芦原川）
 ・ 浚渫工事（芦原川、松田修二郎宅～安達高明宅間）
 ・ じゃかごの撤去と石の設置（芦原川、安達高明宅前）
 ・ 破損した川底のコンクリート板の改修（芦原川上流）
- 生 活 ・ 外灯増設（府道永留豊岡線）

- その他
- ・公民館のエアコン設置
 - ・出角口バス停に小屋の設置（小学生の待合所）

【須田】

- 道 路
- ・道路改修（野村正明宅前・公民館広場下～市場口）
 - ・道路舗装（市道衆良神社線）
 - ・道路の災害復旧（府道永留豊岡線）

- 農 業
- ・轟水路の整備
 - ・新庄井堰水路の整備

- 生 活
- ・急傾斜地崩壊危険個所の整備（上田利一宅～坂下泰男宅間
・岸梅野宅の山側）

- その他
- ・路面設置消火栓の修繕
 - ・消火栓ホースの取替
 - ・消火栓ボックスの取替

【新庄】

- 道 路
- ・道路側溝（新庄甲坂線～府道町分久美浜線交差点部～松田陽介宅前間）

- 河 川
- ・河川改修（崩谷川、旧公民館付近）
 - ・崩谷川の石垣修理（2ヶ所）

- 農 業
- ・府道横断する農業用水路の改修（2ヶ所）
 - ・農業用水路のU字溝敷設工事（消防車庫付近）

- 生 活
- ・生活排水路の改修（今井守宅～高谷一吉宅間）
 - ・生活排水路未整備個所の整備（西山竜一宅前）

- その他
- ・防火用水槽の設置（旧公民館跡地）
 - ・消火栓のホース・スタンドパイプの支給

役職等	氏名	地区名	選出団体	備考
会長	田中敏彦	新庄	—	
副会長	土出敏彰	須田	公民館	川上公民館長
〃	佐野大裕	市野々	区長会	区長会長 市野々区長
幹事	山口肇	布袋野	区長会	布袋野区長
〃	白岩悦雄	畑	区長会	畑区長
〃	田中正人	金谷	区長会	金谷区長
〃	辻重雄	市場	区長会	市場区長
〃	安達禎宏	出角	区長会	出角区長
〃	安達義和	須田	区長会	須田区長
〃	岡下博之	新庄	区長会	新庄区長
〃	松田修二郎	出角	公民館	川上公民館主事
〃	安達実	畑	区長会	平成 24 年度区長
〃	野村功	市場	区長会	平成 24 年度区長
〃	安井岩夫	市野々	区長会	平成 24 年度区長
〃	山添利昭	新庄	営農部	新庄区営農部長
監査委員	森本光治	出角	区長会	平成 24 年度区長
委員	山口高史	布袋野	区長会	平成 24 年度区長
〃	高谷一吉	新庄	区長会	平成 24 年度区長
〃	安達義之	須田	区長会	平成 24 年度区長
〃	小幡勝義	金谷	区長会	平成 24 年度区長
〃	小幡護	金谷	公民館	教養部長
〃	中道英明	布袋野	老人クラブ	老人クラブ会長
〃	野村重嘉	市場	老人クラブ	老人クラブ副会長
〃	小幡正子	金谷	女性部	梅の里女性会川上代表
〃	長尾昌子	布袋野	民生児童委員	常務
〃	田中春樹	布袋野	P T A	川上小学校会長
〃	田中康弘	市野々	P T A	久美浜中学校副会長
〃	川戸正博	布袋野	公民館	厚生部長
〃	飯室清隆	布袋野	消防団	第 2 分団分団長
〃	野村至	市場	消防団	第 2 分団第 1 部部長
〃	山口晃弘	布袋野	交通安全協会	川上地区代表
〃	芦田真	畑	交通安全協会	〃
〃	谷口弘之	金谷	交通安全協会	〃
〃	田中庄策	市野々	営農部	市野々区営農部長
〃	川戸康成	布袋野	営農部	布袋野区営農部長
〃	飯室裕司	畑	営農部	畑区営農部長
〃	上田茂生	金谷	営農部	金谷区農家組合長
〃	大垣雅彦	市場	営農部	市場区営農部長
〃	森本種男	出角	営農部	出角区営農部長
〃	戸出義則	須田	営農部	須田区営農部長
市民局担当	土出政信	須田		
事務員	二夕川晶子	須田		

(資料 2)

川上地区むらづくり計画審議経過

年度	月日	会議等	内容
平成24年度	5月8日	役員・総務部会	むらづくり策定について
	5月18日	申請書提出	
	5月23日	各部長会議	アンケート等検討
	5月28日	教育福祉部会	アンケート等検討
	5月31日	総務部会	むらづくり調査・計画策定の取組み アンケート内容検討
	6月2日	総務部会	アンケート内容検討
	6月6日	役員・総務部長	むらづくり調査・計画策定の取組み アンケート内容・視察研修の検討
	6月8日	幹事会	むらづくり策定の進め方について アンケート内容確認・視察研修の検討
	7月10日		住民アンケート全戸配布
	8月10日	幹事会	アンケート回収・視察研修の検討
	9月4日	役員・総務部・教育福祉部会	アンケート集約
	10月10日	幹事会	アンケート結果の分析
	10月28日	視察研修	大屋町明延自然学校・木彫展示館 出石町やすらぎ市民農園
	11月22日	役員会	アンケート結果報告の確認 視察研修の報告
	11月29日	幹事会	アンケート結果報告の確認 視察研修の報告 今後の取組み課題の検討
	12月25日		「川上地区むらづくり実態調査アンケート」 全戸配布
	2月15日	自治振興会全体会	今年度の経過報告
	2月25日	実績報告書提出	
	3月15日	自治振興会総会	今年度の経過報告
	平成25年度	5月10日	幹事会
5月28日		役員・総務部会	今年度の取組みの検討
5月30日		申請書提出	
6月27日		役員会	むらづくり計画書の検討
7月10日		幹事会	むらづくり計画書の検討
7月26日		総務部会	「川上ゆめマップ」の検討
8月10日		幹事会・区長会	むらづくり計画書の検討 各区へ「川上ゆめマップ」の依頼
9月10日		幹事会	むらづくり計画書の内容検討
9月18日		役員・総務部会	むらづくり計画書の内容検討
10月10日		幹事会	むらづくり計画書の内容検討 今後の取組み課題の検討
10月11日		会長	むらづくり計画の指導を久美浜市民局より受ける
10月16日		役員	むらづくり計画の指導を久美浜市民局より受ける
11月12日		幹事会	むらづくり計画書の内容確認 今後の取組みについて
12月12日		幹事会	むらづくり計画書承認
1月			「川上地区むらづくり計画書」全戸配布

(資料 3) 「川上地区むらづくり計画」作成のための住民アンケート

川上地区自治振興会

川上地区自治振興会では、川上地域の活性化を図り、より明るく住み良い地域にしてい
くため、2年間かけて「川上地区むらづくり計画」の作成を考えています。まず1年目は、
川上地域の実態・課題の把握の取り組みを進めていきます。その取り組みの一環として、こ
の住民アンケートを実施しますので、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

以下の質問につきましては、当てはまる番号に○をご記入ください。当てはまらない場
合は、その他にご記入ください。「複数回答可」の項目もあります。

あなたご自身のことについておたずねします。

問1. あなたの性別は

1 男性	2 女性
------	------

問2. あなたの年齢は

1 16～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上	

問3. あなたのご職業は

1 主として農・林業	2 自営業（商業・工業・サービス業等）
3 勤め人（会社員等）	4 公務員、団体職員、教員等
5 学生	6 家事専業
7 アルバイト、パート	8 無職
9 その他（具体的に	）

問4. 一緒に住んでいるあなたの家族は

(1) ご家族の人数はあなたを含めて（ ）人	
(2) 一緒に住んでいる家族構成は	
1 自分だけ	2 一世代
3 二世帯	4 三世帯
5 その他（	）

ふだんの暮らしについておたずねします。

問5. あなたは現在のお住まいに通算して何年くらい住んでおられますか。

1 3年未満	2 3年以上～5年未満	3 5年以上10年未満
4 10年以上20年未満	5 20年以上	

問6. 集落内の住み心地はどうですか。

1 住みやすい	2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい	4 住みにくい

問7-1. 問6で1あるいは2と答えた理由は何ですか。(複数回答可)

1 生まれたときから住んでいる、または生まれた場所だから。
2 自然が豊かで子育てによい。
3 人情に厚く人間関係がよい。
4 その他 ()

問7-2. 問6で3あるいは4と答えた理由は何ですか。(複数回答可)

1 世間狭く干渉されやすい
2 日役が多すぎる
3 区の行事が多すぎる
4 区の役が常にまわってくる
5 その他 ()

問8. あなたは、現在のお住まいに今後も住み続けようと思われますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

1 これからもずっと住みつづけたい
2 いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい
3 現在、一時的に居住しているため、転居するかもしれない
4 できるなら転居したいが、持ち家のためできない 転居したい理由をお聞かせください ()
5 わからない

川上地区の地域づくりについておたずねします。

問9. あなたは川上地区の自慢できることは、何だと思えますか。当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1 山なみや田園の景観	2 元気で明るい子どもたち
3 地域のまとまり・人間関係の良さ	4 祭り等のイベント・公民館活動
5 歴史・伝統がある	6 農業が工夫して進められている
7 その他 ()	

問10. あなたは、川上地域の今後の課題はなんだと思えますか。

課題だと思うことに○をつけてください。(複数回答可) ○をつけたことで解決策についてご意見があれば、書いてください。

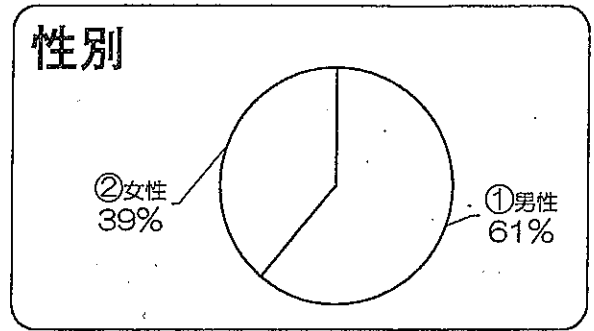
生活・暮らしに関すること	1 道路・下水道等の整備
	2 災害や事故、犯罪のない安心・安全が確保されること
	3 高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせること
	4 地域の子育て機能が回復できるようにすること
	5 結婚を前提とした出会いの場の確保
	6 働く場所の確保
	7 高齢者の交通手段の充実
	8 過疎化・高齢化で、集落の運営機能が弱まっていくこと
	9 その他 ()
ご意見があればご記入ください	
農業基盤の整備に関すること	1 有害鳥獣対策の徹底・充実
	2 遊休農地(耕作放棄地)をなくす対策の充実
	3 農地の貸し手・借り手の情報提供や受委託の促進
	4 農地の受託組織などを設置し、農地の集約化を図る取組の推進
	5 地産地消の推進、農産物の加工販売の促進
	6 農業後継者の育成・確保
	7 その他 ()
ご意見があればご記入ください	

(資料 4) 川上地区村づくり計画住民アンケート結果

A 本人に関すること

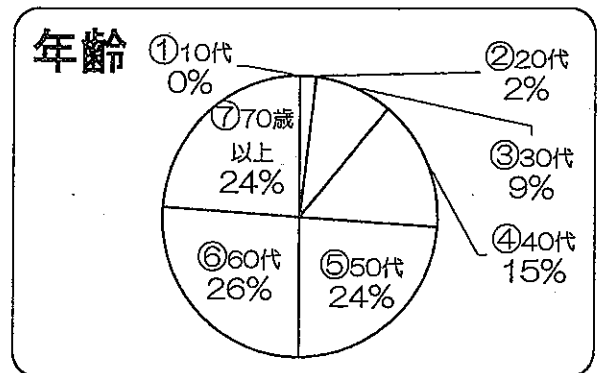
問 1 性別は (人) (%)

① 男性	277	61%
② 女性	180	39%
合計	457	



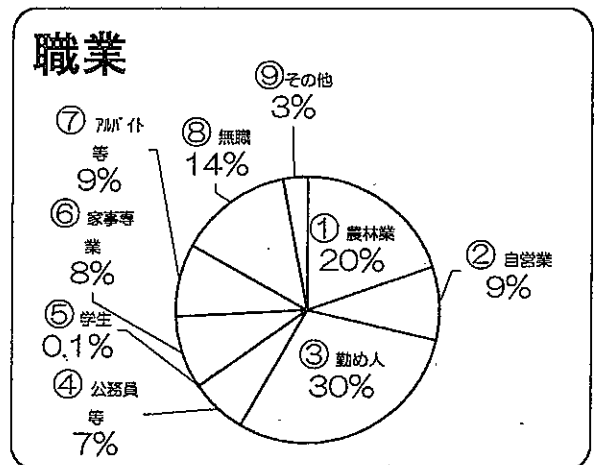
問 2 年齢は

① 10代	0	0%
② 20代	10	2%
③ 30代	39	9%
④ 40代	69	15%
⑤ 50代	110	24%
⑥ 60代	115	26%
⑦ 70歳以上	107	24%



問 3 職業は

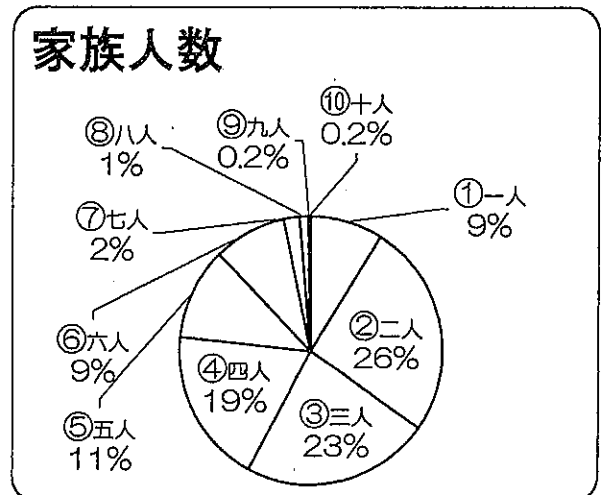
① 農林業	89	20%
② 自営業	39	9%
③ 勤め人	138	30%
④ 公務員等	33	7%
⑤ 学生	1	0%
⑥ 家事専業	38	9%
⑦ アルバイト等	40	9%
⑧ 無職	64	14%
⑨ その他	12	3%



問 4 一緒に住んでいる家族は

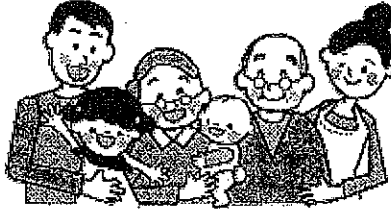
1 家族人数

① 一人	36	9%
② 二人	106	26%
③ 三人	96	23%
④ 四人	76	19%
⑤ 五人	44	11%
⑥ 六人	36	9%
⑦ 七人	10	2%
⑧ 八人	4	1%
⑨ 九人	1	0%
⑩ 十人	1	0%

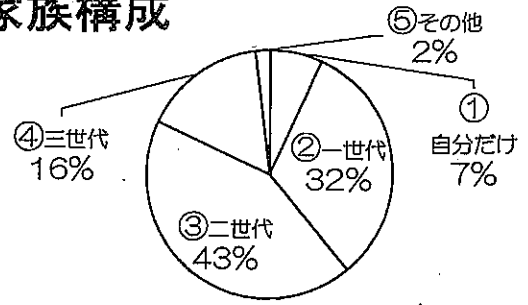


2 家族構成

① 自分だけ	31	7%
② 一世代	141	32%
③ 二世世代	188	43%
④ 三世世代	70	16%
⑤ その他	9	2%



家族構成

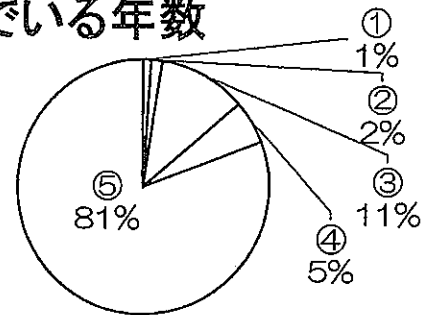


B ふだんの暮らしについて

問 5 住んでいる年数

① 3年未満	5	1%
② 3~5年	7	2%
③ 5~10年	51	11%
④ 10~20年	25	5%
⑤ 20年以上	367	81%

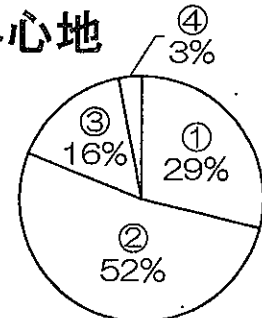
住んでいる年数



問 6 住み心地について

① 住みやすい	114	29%
② どちらかといえば住みやすい	207	52%
③ どちらかといえば住みにくい	65	16%
④ 住みにくい	11	3%

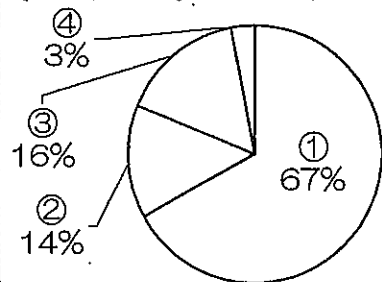
住み心地



問 7-1 問6で1・2を答えた人

① 生まれたときから住んでいるので	396	67%
② 自然が豊かで子育てによい	82	14%
③ 人情に厚く人間関係がよい	92	16%
④ その他	15	3%

住みやすい理由



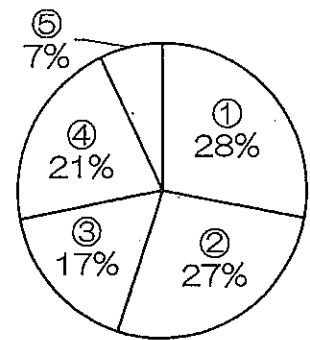
【その他】

- 野菜が豊富で安心して食べる事が出来る
- 水や空気が良い
- なんとなく
- 住めば都

問7-2 問6で3・4と答えた人

① 世間が狭く干渉されやすい	55	28%
② 日役が多すぎる	53	27%
③ 区の行事が多すぎる	33	17%
④ 区の役が常に回ってくる	42	21%
⑤ その他	14	7%

住みにくい理由



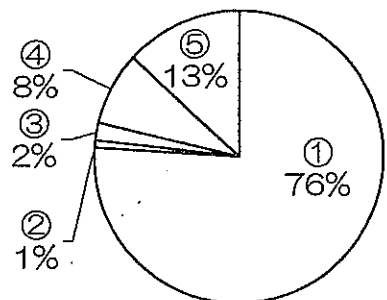
【その他】

- 山奥で不便
- 家庭内の事情
- 便利が悪い。色々な店や病院に行くのが遠い
- 交通の便が悪い
- 老人の収入が少なく、年金月28,000円で支出が多いので困ります
- 村おこしも程ほどにしてほしい
- 年寄りなので村人に迷惑をかけている

問 8 住み続けようと思えますか

① これからも住み続けたい	307	76%
② いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい	6	1%
③ 現在一時的に住んでいるため転居するかもしれない	9	2%
④ できるなら転居したいが持ち家なのでできない	31	8%
⑤ 分からない	55	13%

住み続けますか



【④の転居の理由】

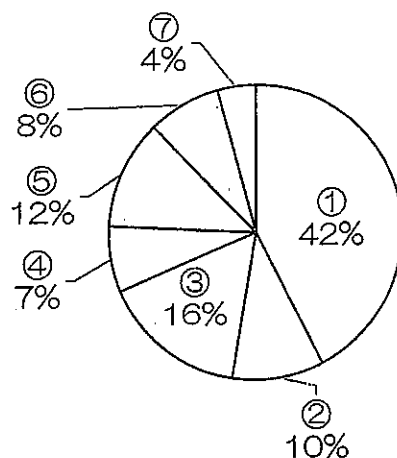
- 冬、雪が多くて除雪作業に困る
- 雪の降らないところに行きたい
- 周りの事を気にしながら生活するのが嫌だ
- 他人の事をあれこれと口出して煩わしい
- 農業をする自信がない
- 数年前まで、とても住みよかったが、今は、環境も悪く息苦しい毎日住みにくいと言った方がいいかもしれない。御先祖の為には心棒かなあ
- 運転できなくなると病院、買い物等生きることが難しい
- 交通手段が悪いから
- 公共交通機関を利用した生活がしたい。車がないとどこにもいけない、生活できない
- 一人暮らしの為高齢になり体が不自由になると若い者に頼りたい
- 交通の便が悪すぎるから
- 生活するのに不便、人口が少ないため楽しくない。人とのつながりが少ない
- 子どもは将来、田舎には暮らさないといい、以前、京都に住んでいたの、老後はそちらでパートでも借りてゆつくりしたい
- 公共交通機関を利用して、病院に行ったり映画を見たり等自分の足で動きたい
- 次世代が住んでいないから

C 川上地区の地域づくりについて

問 9 川上地区の自慢できることは何だと思えますか (複数回答あり)

① 山なみや田園の景観	243	42%
② 元気で明るい子どもたち	57	10%
③ 地域のまとまり人間関係の良さ	95	16%
④ 祭り等のイベント公民館活動	40	7%
⑤ 歴史・伝統がある	70	12%
⑥ 農業が工夫して進められている	46	8%
⑦ その他	25	4%

自慢できること



【その他】

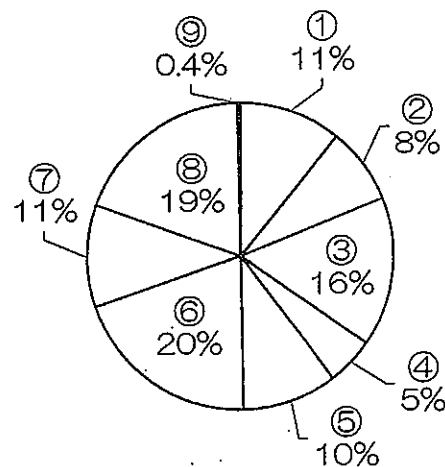
- 自然が豊かなこと
- 信号が一つもないこと
- 年老いて望むこともできず、この地・この家で終わることです

問 10 川上地域の今後の課題は何だと思えますか (複数回答あり)

【生活・暮らしに関すること】

① 道路・下水道等の整備	120	11%
② 災害や事故、犯罪のない安心・安全が確保されること	91	8%
③ 高齢者や障害者等すべての人が安心して暮らせること	172	16%
④ 地域の子育て機能を回復できるようにすること	54	5%
⑤ 結婚を前提とした出会いの場の確保	105	10%
⑥ 働く場所の確保	217	20%
⑦ 高齢者の交通手段の充実	125	11%
⑧ 過疎化・高齢者化で集落の運営機能が弱まっていくこと	210	19%
⑨ その他	4	0.4%

生活・暮らし



【ご意見】

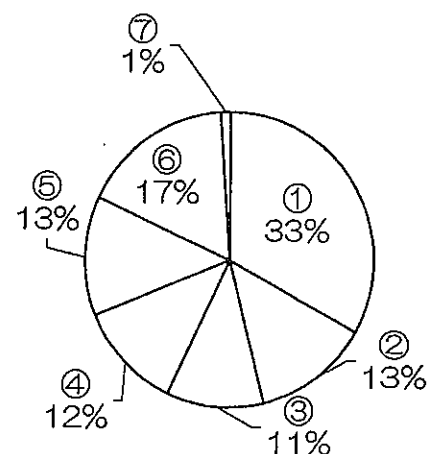
- ⑥に対して…考え次第でできると思えます。20代～40歳の働き場所が少ない
- 基盤整備完了地の田畑が荒れている。年数回のトラクター等による耕作をお願いしたい
- 国政・地方行政の抜本的な改革が必要だと思う

- 除雪の時間を早めに、細やかにしてもらいたい
- 農業を法人にするか組合を立ち上げないと、10年後には田畑が荒れる。少子化はすぐには戻らない。働く場所・雇用の早急な確立を
- 農地の保全、集落営農組合の確立。おいしい米がとれる川上地区で離農している家もあるが、地主は耕作者も見つげず荒らしている現状があり、もっと積極的に耕作者を見つける必要がある
- 少子高齢化が進み、子供が川上から消えることがない様にしてほしい
- 保育所、小学校が地域からなくなっていく中で、何か活性化できるような取り組みが考えられるとよいと思う
- 上記、みな大切ですが、何よりも人間関係がよくなると…。分け隔てがあるところでは、安心ができない
- 京都北部に仕事がないのなら、若者に残ることを強いることはできない。高卒時無職で社会に放り出される無念、政治家の無力、外に向かってマスコミ等に取り上げてもらうようにして、報奨金を出しては？2の問も、これが解決してからの話
- 後継者に帰ってほしいが(息子、嫁)二人の就職がないので困っている
- 低賃金で若者が都会で就職し、帰ってこない現実がある。次世代の先が見通せない
- 川上地区の地域づくりは、川上小廃校後どう生かすかにかかっている。何も示すことのできない振興会なら、このようなアンケート無意味である
- 働く場所がなければ若者が帰ってこない、若い人が帰ってこなければ高齢化が進む
- 近所にスーパー等何もない。どこに行くにしても必ず車とゆうのはどうかと思う
- 適当に考えていて、何もよいことなし
- 高齢者の送迎、生活用品の買出しなどの組織ができないか。若者や退職者の働き手を活用
- 都会の方でも、こちらに移住したいと思ってもらえるように、働く場所、住居(空家)などあればと思う
- 小学校の有効利用、管理方法
- 働く場所が0に近い状態のため、若い世代がどんどん離れてゆきます。最終的には、家があってもただ帰ってきて寝る場所、または、ご飯を食べる場所等生活するのではなく、用事時を済ませる場所になってしまう気がします
- 川上地区における活性化はまず、道路の整備、交通整備、職場の整備、高齢者への対応等々が全然できていないと思います。子どもたちに関してもそうです。農業問題ばかりに力を入れ、話題にし、これでは、久美浜特に川上の過疎化は近いと思います
- 18歳ころになると自然と外に出て行く流れもあるが、大学で又帰ってこれるような魅力ある仕事があれば、いいのではないか？

【農業基盤の整備に関すること】(複数回答あり)

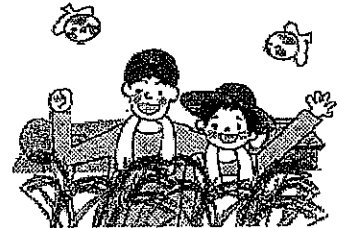
① 有害鳥獣対策の徹底・充実	261	33%
② 遊休農地(耕作放棄地)をなくす対策の充実	105	13%
③ 農地の貸し手・借り手の情報提供や受委託の促進	87	11%
④ 農地の受託組織などを設置し、農地の集約化を図る取り組みの推進	93	12%
⑤ 地産地消の推進、農産物の加工販売の促進	99	13%
⑥ 農業後継者の育成・確保	136	17%
⑦ その他	8	1%

農業基盤の整備



【ご意見】

- 農業政策など政治の改革が根本だと思う
- 農産物、とりわけ稲の価格が保証されれば農業に魅力を感じずる人が増えると思います
- 田畑の荒地が気になる
- 子供が帰ってこないし、主人が年を取ったら田畑はどうなるのか心配
- 鹿が飛び出し、車にあたる事が当たり前になっている。何かがおかしい。徹底的な駆除はできないか
- 人口減少では全て無理(若者がいなくなる)
- 農業のことは良くわかりませんが、作物が大きくなっていくのは大変素晴らしいことです
- 有害鳥獣対策を徹底すれば、遊休地はなくなる
- 川上の問題ではないのですが、とにかく働く場所がないのが丹後の大きな問題だと思います
- 特産品の確立
- 考えていない、前途なし
- 若者の働き場ができないか
- 本当にできることからやるべきと思う
- 農産物が安すぎ
- 整備する前に、将来的にどういうビジョン持って、行動されるのかもっと明確にしてもらいたい
- 山林の行く末、いかなるものでしょうか。若者に境界等を教えることも不可能な状況ですね
- 有害鳥獣に関して、各部落とも鹿、熊、猪等の被害を受ける中で、原点に戻り、山にどんぐりの木の植樹をする、山で暮らせる整備をしてやることも大事ではないでしょうか
- 食の安全が流行っているため、日本産(京都というブランドを大切にすべき)という野菜や作物を作り、海外に向けたブランドでできる商品を作るようにすればよいのでは？
- 国内向けでは、消費は頭打ちになるのは目に見えている



問 11 ふだんの暮らしの中で困っていること、気になること等

- 子供達が学校から自転車で帰って来るのに、街灯が少なく女の子を持っている親としては心配です。もう少し街灯が多い方が良いでしょう
- 常々思うことは、冬雪が多いこと！最近除雪が早く有難いです
- 若い人達が子供を多く産み、子供も数が増えてほしい。十年先になると人口はどんどん減っているように思います
- 現在は60代で車を運転できあまり不便は感じませんが、今後高齢になり車に乗れなくなった時の事を考えると不安です。病院・買物等、今のバス路線では何かと不便です
- 所有地の草刈り・除雪などできなくなれば、金銭で依頼しなくてはならず、年金生活者には不安です
- 病院が遠い
- 子供が少ないので、区の活性化が見込めない
- 未婚の結婚適齢期以降の男性が多く、区(地区)の将来像が心配
- 食事の買物など、もっと近くに良い所があればと感じています
- 働く場所
- 大雪の時には屋根の雪かきが困る
- 農業後継者がいないので働けなくなったとき農地の管理や経営をどうしたらよいか。字内道路の拡大や改良
- 後継者の育成
- 将来的に、高齢者の交通手段の確保(現在は運転できる)
- もう少し、交通の便がよくなればと思います
- 年老いたときの交通の便が心配

- 少子高齢化。結婚できない独身男性世帯が増加するなど、家庭・地域社会が崩壊の道を歩んでいます
- 食えない、生活出来ない生業農家などや所得が減少し続ける状態となっています
- 自治振興会の意義と役割を正しく認識することが必要。『地方主権改革』の中身・道州制への動きなど分析が必要です
- 老人家庭では日役が負担になります。75歳を過ぎると何か考慮してほしいと思います
- 球技大会や運動会に役員をすると人数確保に苦慮します。時代が変わり日曜日に出勤してはならない人が多くいます。人数が揃わない場合に辞退することはできないか
- 独身者が多く将来が心配
- 会社で働いた収入が年々減っている
- 農業への雇用と売り上げ、米の値段を上げない限り田んぼは無くなる
- 道が整備されていない所が多い
- 子供にやさしいとは言えない所が多い
- 交通ルールを把握していない老人が多い
- 一人暮らしで収入が少ない。年金月28000円しか入らず生活に困っています。どうしたら暮らしが安心して楽しい生活ができるか考えてほしいです。世の中、全てのことが金銭を伴います。収入の少ない者のことを考えて物事を進めてほしいです
- 有害鳥獣に対する対策が甘い
- 河川の崩れている所が多い
- 地球環境悪化、人類の文化生活によって早まる自然破壊
- 現在は特になが、年齢が高くなれば色々出てくると思う
- 草・竹・木が大きくなってすごく困る
- 仕事がローテーション勤務なので日曜日に村の日役があるが出来ない
- 高齢者世帯ではあるが、集落の一員として役員等の順番、夫役等に対して配慮していただけない
- 除雪などについても、毎年住む人が変わっても従来どおりの除雪路線が踏襲されており実態に合った見直しがしていただけない
- 悪質な人がいる、人の土地に草や笹の根をほかし、道路の見通しが悪いといっています。人目を気にして人が家にいないときに死んだ蛇を縁先に置いたり、車庫の農機具の油を抜き取られる、玄関に置いた傘の骨を折ったり、色々されました。
- 困ったこと、気になること色々あります。個人的に困っていったり(相談)書いたりすると後々疎外される羽目になり解決の策はなし。自分のところに関係なくば見てみぬ不利、助け合う心構えは先ずありません。一人でも協力という言葉があるなら故人にも協力願いたい…と思います
- 夜道に外灯も少ないので危険を感じることもある
- 補助金をもらおうと出役しなければならぬ。事業はしてもらえばよいが体がしんどい
- これから、ご高齢の方が増えてきます。高齢者でも、健康で長生きできるように村、地区ごとに何か集まって、あまり何も気にせず時間が許す限り1日楽しんでできるようなイベントを考えてほしいと思います。運動会とかはだめです。みんなが気楽に参加できるイベント、気軽に話をしたり、なんでも話ができる場所、個人的な話ができる場があればよいかと思います
- 小学校の登校、下校時、見守りたいがおられる時はいいのですが、おられない時はかさ等横向きにもって少し危なく気になります。中学校でも自転車、一列でない場合が見られます。挨拶は、小中元気よくて気持ちが良いです
- 特に良いこともあれば、悪いこともないです。良いことを思い出しても、なかなかでてこない。悪いことを思い出せば、多くあるが、仕方ないことばかりで…。よくもなく、悪くもなく、微妙なバランスで成り立っている感じです
- 一人暮らしは、病気や怪我をした場合の時が心配になります
- 前には、この人はどうか、あの人はどうかといってくれた人があったが、今はそれが無い、困った時代である。自分で見つけるしかない困った時代である。とにかくお嫁さんがほしいばかりです
- 現在は二人共車に乗れて外出できるが、これから先運転できなくなったら交通機関をどうしたらいいのか不安
- 年金が減って年を重ねたら当然医療のお世話になると思うが、医療費が心配
- 24時間の店(コンビニ等)がほしい
- 一人暮らしで先行きが不安

- 子供の将来が不安《遊び場所、同級生の少なさ》。大人になってからの川上地区は今より？(今と変わらず?)住みやすくなっているか
- 子供の大人になってからの仕事の事など
- 鳥獣の駆除(殺傷)。余りにも増えすぎている。人を恐がらないから里にも出てくるのではないか
- 若者(30~40代)の結婚の難しさ
- 網を張っても農作物を鹿、猪等に食べられています。何かいい方法はないものか
- 現在農業の第一に困るのは、有害鳥獣対策だ。山の植林は、害を受けて枯れてしまうし、ケモノにおいて山の中の川の水も飲めない
- 少子高齢化
- 60歳までで職を失った人がいたりすること。企業誘致等を積極的にしてほしい。過疎化の原因を何とかしてほしい
- 老親の世話、親は高齢で車の運転をやめさせたいが、病院や本人の買い物等老人の足があればいいと思う
- 地区での役員で色々役を任せられ、勤め人には荷が重い。少くくはしてもいいと思っているので、他の人にも回してほしい。田んぼだけで精一杯で、山や畑は、長年放置したまま、不安である
- 子どもが川上に住みたくても、いい仕事がない。一度都会でくらすともう田舎には帰って来たくないという
- 今、老人の二人暮らしが多くなっていますが、これからが心配です。バスでは、間に合わないこともあります
- 消防団活動が忙しすぎる。人がいない地域もあるので、若い人は入ってもらえる環境づくりがあればと思います。役につく人が限られるので、おとなしい人にも、どんどん平等に役がまわるようになったらいいと思う。消防+村+PTAで家にいる時間が少ない
- 子どもが小さい頃は、いろんな方々と触れ合う機会が多くあったような気がするのですが、子ども達が多くなるにつれて、人と人の触れ合うことが少なくなっているような気がします
- 特にありません。理由は困ったことや気になることがあれば、家から出て外で解決するからです
- シカ、イノシシ、野菜を作っても食べられたり、楽しみがありません
- 交通の便が悪い。買い物をすると困る
- 自然を大事にするなら、桜並木をつくるなど各地区の自然の名所を作るなどしてはどうか。子どもが集まり、安全に遊べる場所がない。公園の遊具を充実させる等川上地区に一つくらいアスレチックがあるような大きな公園があってもいいのでは
- 父の残した田んぼがあるのですが、後継者がいないため、また作ってくれる人もなく、荒地状態です。草刈等も大変です。無償でもいいので誰か作ってくれる人がおられれば、ぜひともお願いしたいです
- シカ、イノシシ、クマの駆除
- 川上公民館の行事を少なくしてほしい。特に文化祭等客はいないし、役員ばかりで必要なし
- 資源ごみ、不燃物、分類をきちんと守るようにしてほしい
- 独居老人が年々増えている。福祉関係の充実を
- 子ども人数が、一人でも増えるといいのですが
- 働く場所が少ない
- どこか出かけるにしても、バス・汽車など利用するものが少なすぎて、合う時間がない場合、何時間もまたなくてはいけないときがある。(通学、通勤等特に)冬等雪が降ったときなど道があいていない場合があるので困る
- 生活保護を受けている家は、年金を受けている家よりも入る金額が多い。仕事をしているが、給料をもらうよりも生活保護をもらっている家のほうが多く受けている。何とか早急に改正し、また年金も今後のことを考えれば本当に不安です。今の国、地方の考え方、そして公務員給料のあり方はとても納得できるものではありません。今後がとてもとても不安です
- 空き家が目立つ集落が多い気がする。都会の人間をもう少しこちらに引き込み、空き家をなくするほうがいいんじゃないのかと思う。市行政のアプローチが下手だと思います
- 若者が少なくなっていること

D 川上の地域づくりでお気づきの点やご意見

- 長い間の(過去100年)生活の有り方で今日を迎えています。今の生活の中からはよいものが出来てくると思います。今は大いに苦しむべきであり、その中より新しいもの、道筋が出来る様に思います
- この故郷が続いて行く事、都会に出ている子供が安心して帰ってこられる村であってほしい。どうすればいいか難しい問題です。また、川上小・高龍中と母校がなくなるのも悲しいです。時代の流れで仕方がないかもしれないけれど、悔しいです
- 近く小学校が廃校となり、川上と云う地域が崩壊しないか心配だ。公的施設が郵便局と駐在所だけになり、過疎化が確実に進行し若者の住みにくい地域になるだろう
- 有害獣の被害が多発し、その防護対策が農業生産に大きな被害となり、農家離れがどんどん進行すると思われる。動物愛護思想を排除し徹底的な防除対策と行政機関が実施する様、地域組織が団結し働き掛ける事が必要ではないだろうか
- 全国的な傾向であるかもしれないが、市の中心部と周辺部との生活環境の差を大きく感じている。そのためには、行政への意見・要望も多く、常にその意識を持って粘り強い要望をしていく必要があると思います。最近では地域の行動が見えにくくなったと感じている。住民への報告等を通じて問題意識を広めていく方策を考えて頂きたい
- 川上は大変住みやすい所だと思っています。老夫婦二人暮らしですが、これからも一層に区の方々にはお世話にならなくてはならないと感じています
- 農作業を川上地区内で働かせてもらえる様に。仕事が沢山させてもらいたい
- 地区(集落)間の協力が不足している。事業等の調整をもっと実施してほしい。例、府道奥野線(須田集落留め府道)の布袋野～奥野線の府道変更
- 道路拡幅工事(側溝のフタ)等は中途半端でもっと広く道幅を取り付けてほしい
- 川上小学校が2年後なくなるが地域全体で子育てを
- 小学校の跡地利用
- 地域が寂れないようにする取り組みの必要性
- 高齢者にも勉強する場所がほしい。講演会とか、趣味の教室とか
- 全地域住民の知恵と力を集めて、むらづくりを進めるのは大切だと思いますが、“市などの支援する業”などに見られるように、地域の暮らし、生業を守ることを、地域住民・組織に責任転嫁しようとしている政治の流れを見落としてはいけないと思います
- 地域の労力・財力は限界です。地域の知恵・要求・政策などを、地方行政・国政に提言し課題の解決、政策展開を求める活動も重視する両輪の運動が必要だと思います。要求・政策に関するアンケートを実施してください
- 自分勝手であり、他人の事も考えて地区を盛り上げたい
- エネルギーの地産地消の取り組みを進められないでしょうか。一年間を通して、昼夜を通して使うことを考えている他の地域での取組をニュース等で見るがあります。川上地区では振興策として考えてみることはできないでしょうか
- 誰もが安心して安全だと思える地域
- 安心してかかれる医療機関がある
- 川上地域に限った事ではないが、日本経済・社会のモラルが低下していると思う。やはり利益の上がる農業が必要だと思う
- 周りの事というより、自分の事を考えて行動されている方が多い様に思われます。もっと協力してする様な事を考えてもよいかと思う
- 子供が少ない
- 地場産業に力を入れて若者が多くたくさん残る村づくり。人が増えてほしい
- 金谷の朝市は素晴らしいと思う
- 川上小学校が無くなった時、民間企業へ売られた場合、避難所としての機能がなくなる恐れがあり、また公民館事業の運動会等が行えず、地区民の交流が出来なくなることが不安である
- 段々静かになっていって、川上小学校も無くなったります寂しくなると思うので、もう少し賑やかにしたらいいなと思う
- 年配の方の知恵と経験が生かされる地域になってほしい
- 行事が多すぎる

● 今回のようなアンケートも良いが、大切なことは現在の川上地区の人口(男・女)を把握して若者が何人いるか、高齢者が何人居るかを知り、このままでは10年後はこうなりますといった見解を出す説得力があり、今後の展開では真剣な意見が聞く事が出来ると思います。最近思うことは川上地区に住んでいる方で結婚された人の話を聞いたことがありません。高齢者ばかり増え若者が結婚できない現状では、20年後には川上の将来は絶望的ですし、各集落の運営も機能不全になっていると思います。まずは人口増加対策を考えてください。そこからすべてが始まると思う

● 地域の核となる施設がないため、交流が図れない。(川上小廃校後)「コミュニティ施設」「スポーツのできる広場」「公園」などを作っていただき川上地区民の拠り所を確保していただきたい。そうしないと各集落の施設だけでは「川上地区」という伝統ある地域がなくなってしまうものと思われる。人が集まれば、英知が生まれます。特に老人は孤独になると短命化するので集まって話したり、スポーツを楽しむ施設が求められます

● 川上地域の活性化をどう進めていくか、まずは、地域がまとまり、全ての階層で個人主義が進んでいる。リーダーが必要で、その育成が課題

● 自治振興会の活動や趣旨が地域住民に明確になっていないし、何をやっているのかも分からない。もっとオープンにまた、活動報告をしてほしい

● 行政にしても、役所にしても、あうんの呼吸で分かり合って進める、又縦横の繋がりが重視され、半端者は無視、どんなことでも相談してくださいとよく言われるが、信じていくとそっけなくされたり、納得いかないことばかり、言えば凝視され言葉もかけてもらえなくなる。不愉快極まりなく、被害者となるかも不安な村になってほしいと切に切に願っています

● 各人負担が少なく、かつ、行事等に参加しやすい方法を(細くなるかもしれませんが)模索していく必要があるように思えます

● 今の体制の中で、積極的に川上地区のために、知恵や行動や力(パワー)を出してもらえる若い力を集めることのできる場を作り、話し合いながら行動を起こしていくようにしてほしい

● 若い人が都会へ出て、年寄りばかりが増えています。空いている家も川上地区に限らずあると思います。だから都会から移り住んでもらえるような何かの形でアピールできたらと思います。夏休みとか利用して住んでもらうとかインターネットを利用して、今だからこそ前進できたらと思います

● 計画作成が終点ではなく、次に進める運動として続けてください。この地で終わりを迎える人間は、いやでも逃げ出すところがないのです

● 今日まで、地域に根ざした教育がなされていて、とても良いことだと思います。これからもこれまで行事して下さったこと親睦のために続けてくださることを希望します

● 区長の負担が多い

● 川上小の合併後の公民館活動のあり方

● 仕事をしているので、地域の人々とも話すことがなく、子供さんたちはカヌー教室・スキー教室とかがありますが、私たちでもできるフラワーアレンジメントで寄席上等の企画をしていただけたらなと思います

● もっと楽しめることや場がほしい。地区内に気軽に楽しめる囲碁、将棋クラブ、マージャンクラブとかがあればいい

● 川上地区は、農業主体だと思う。農業基盤の整備に取り組んで行くことだと思う。その為の組織作りを早くやるべきだ

● 20代、30代の若い人に受け入れてもらえるようなイベント等が少ない。魅力あるものがない

● 子どもたちが少人数だが、みんな仲良しというわけでもないの、子どもが参加しやすい行事が増えればと思います

● 今回のアンケートもそうですが、「川上地区村づくり計画」を作成されるのはよいことだと思います。ただ、やっただけで、終わらせないよう何か、目に見える形で結果を出してもらいたいです

● 「川上地区村づくり計画」作成だけで終わらないように、時間と費用が無駄にならないように、具体的な方法を作り、実行してください

● 以下のことをお願いします

①道路の拡張を早期に実現してほしい

②川上地区だけでなく、久美浜町全域での活性化をお願いします

③交通整備の見直し、高齢者における交通の足は、まだ、40%に過ぎないと思います

④小、中学校の統合により、学生たちの通学に関して全くといっていいほど明らかにされていません。特に中学校への通学は…

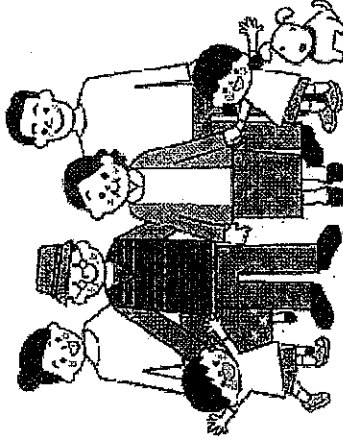
⑤川上地区においての平成25年度後の活性化は、1年毎に衰弱していきます。早期に私たちも協力して、活性化を願う体制を考えてください

● 過疎化対策の強化。就農希望者を迎え入れるような対策も進めてほしい

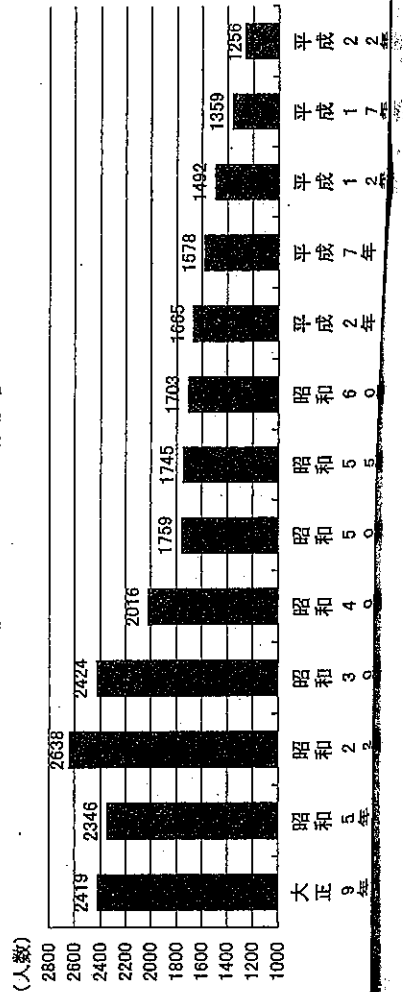
(資料 5) 川上地区地区の人口と世帯数の推移 (国勢調査・久美浜町資料より)

国勢調査	平成22年		平成17年		平成12年		平成7年		平成2年		昭和60年		昭和55年	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
市野々	50	154	52	163	52	195	52	210	51	209	52	206	55	216
布袋野	67	227	71	251	74	268	75	276	76	300	76	309	77	314
畑	44	155	45	175	45	183	46	197	47	214	49	214	50	212
金谷	41	124	38	139	37	155	35	151	36	153	37	147	38	145
市場	33	112	39	117	35	136	36	138	35	142	36	159	57	261
出角	18	56	17	56	21	67	20	69	20	77	20	74	(市場・出角合算)	
須田	73	222	73	235	74	261	77	299	76	321	79	339	79	335
新庄	59	206	60	223	60	227	61	238	62	249	63	255	64	262
川上全体	385	1,256	395	1,359	398	1,492	402	1,578	403	1,665	412	1,703	420	1,745

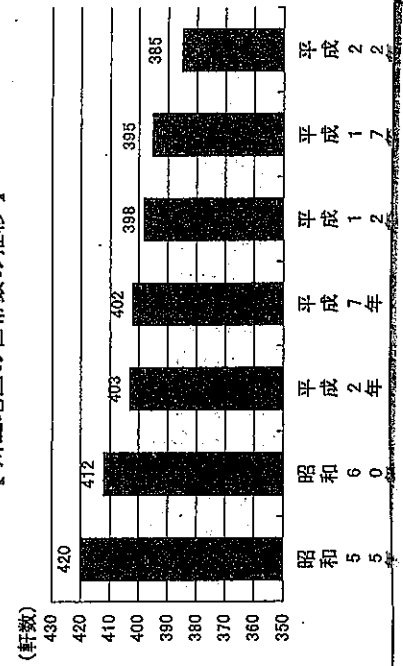
久美浜町資料	世帯数	久美浜町人口	川上	世帯数
明治41年	3,520	17,319		
大正元年	3,430	17,760		
大正9年	3,552	16,364		2,419
昭和5年	3,504	16,746		2,346
昭和22年	3,719	19,096		2,638
昭和30年	3,584	17,821		2,424
昭和40年	3,433	15,303		2,016
昭和50年	3,412	13,522		1,759
昭和55年	3,380	13,178	420	1,745
昭和60年	3,401	13,177	412	1,703
平成2年	3,353	12,821	403	1,665
平成7年	3,353	12,338	402	1,578
平成12年	3,366	11,857	398	1,492
平成17年	3,352	11,097	395	1,359
平成22年	3,266	10,331	385	1,256



【川上地区の人口推移】



【川上地区の世帯数の推移】



(資料 6)

川上地区年齢構成表

(京丹後市資料 平成25年11月30日現在)

年齢	市野々	布袋野	畑	金谷	市場	出角	須田	新庄	合計(人)
0~9歳	10	12	3	3	3	8	5	13	57
10~19歳	5	19	15	15	14	2	13	17	100
20~29歳	19	20	7	12	5	2	12	15	92
30~39歳	14	12	17	7	16	7	20	21	114
40~49歳	6	23	20	15	9	6	23	22	124
50~59歳	27	39	20	22	13	4	32	24	181
60~69歳	29	33	30	15	22	10	37	27	203
70~79歳	23	30	20	22	18	10	37	25	185
80~89歳	21	33	16	12	13	7	20	24	146
90~99歳	9	8	3	0	3	2	10	11	46
100歳以上	1	0	1	0	0	0	1	0	3
合計(人)	164	229	152	123	116	58	210	199	1251
平均年齢	55.1	53.5	53.7	50.6	52.9	52.0	56.5	51.7	53.3
世帯数(世帯)	49	75	44	36	32	17	68	60	381

【 道路関係 】

- イザミ峠にトンネルを新設。 川上～豊岡間を冬でも通行可能に
- 市場から品田まで市道の拡幅
- 府道町分久美浜線の畑～友重までの区間を2車線に道路の拡幅
- 湯舟坂から豊岡奥野間（大坂峠）の整備。 車での豊岡方面の通行を可能に
- 新庄に高速道路のインターチェンジの設置
- すべての農道舗装

【 観光関係 】

- 菖蒲田植え・納涼祭の存続
- 市野々の山崎公園に屋根付きベンチの設置
- 川上小学校に温泉を掘り『川上温泉』を開設
- 川上谷川に鮎・ヤマメ等の魚の放流・釣り堀等の設置
- 「道の駅」の設置
- 金谷城跡を整備し、展望台を設置
- 水車小屋を再建して、そば等を提供する食堂を開設
- 市場の七社神社へ車で上がれる参道と日下部宅跡の景観整備
- 湯舟坂古代の丘公園の活用
 - ・農産物等の販売所を設置
 - ・定期的なイベントの開催
 - ・キャンプ場等の設置
 - ・伯耆谷川に、魚をとったり水遊び等が行える場の整備
 - ・蓮池を整備し、景観を良くする
- 出角の弥勒菩薩像周辺をいつでも参拝できるように環境整備
- 出角の愛宕山周辺を海部の方が見渡せる見晴らしの良い公園として整備
- 須田のユリガ鼻古墳群頂上(天気の良い日は日本海や太鼓山の風力発電が見える)に望遠鏡を備えた東屋の設置
- 伯耆谷入口（市場口）に案内看板を設置する（古墳遺跡案内）

【 産業関係 】

- 伯耆谷の田畑を利用しての特産品づくり（山の芋・そば等）

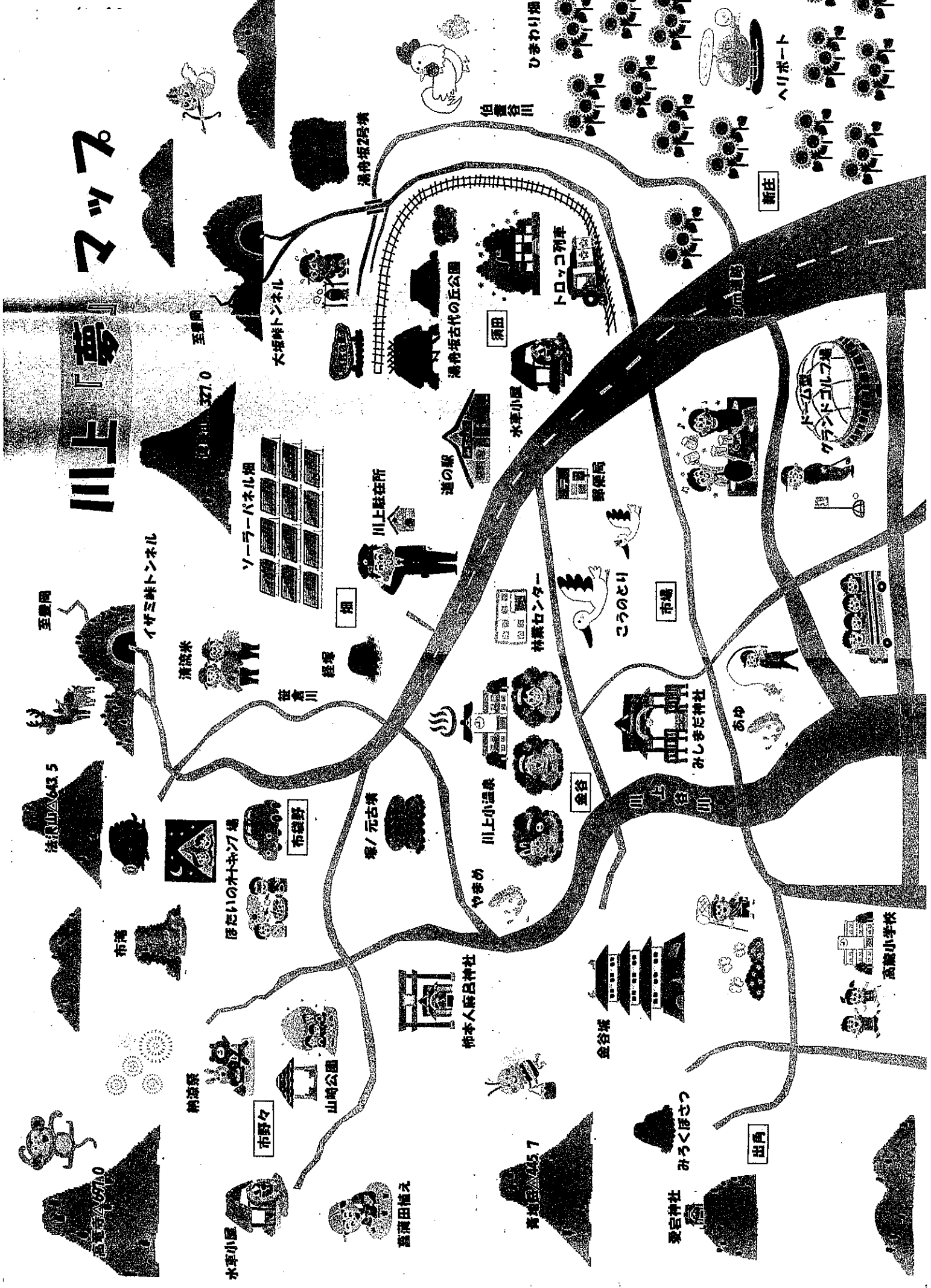
【 生活関係 】

- 小回りのきく、買い物や病院の送迎車の運行
- 高齢者への食事（弁当）の提供

【 その他 】

- 未婚者の交流の場として出会いの機会を設ける。（お見合いツアー等）区ごとでなく川上地区全体で企画・実行
- 若者に嫁さんが来るような村にする
- 耕作放棄の田畑に太陽光発電を設置
- 耕作放棄の荒れた田畑にひまわり迷路等をつくる
- 新庄国営農地の遊休地を利用してヘリポートや娯楽施設（全天候型グランドゴルフ場等）を新設
- 小学校跡地で夏にお化け屋敷を開催
- 企業を呼び込み若者が働ける場をつくる
- 高齢者が安心して暮らせる村にする
- 神輿を軽いものに新調する

川上『夢』マップ



至豊岡

法皇山 443.5

高尾山 457.0

至豊岡 371.0

イザミ峠トンネル

清流米

ほだいのオトキヅ工場

市野々

笹倉川

布織野

葛満田植え

塚/元古墳

柿本人麩神社

やまめ

川上小温泉

青尾山 45.7

金谷

金谷城

みろくほさつ

愛宕神社

出角

市場

あゆ

高蔵小学校

新庄

クラフトゴルフ場

バス

伯耆谷川

ひまわり畑

ハリボート

トロコ列車

須田

水車小屋

郵便局

こうのとり

市場

みしまだ神社

大坂峠トンネル

煙

川上駐在所

道の駅

林業センター

ソーラーパネル畑

経塚

川上駐在所

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社

みしまだ神社